



2025年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月11日

上場会社名 株式会社エヌ・ピー・シー 上場取引所 東
 コード番号 6255 URL <https://www.npcgroup.net/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 雅文
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 廣澤 一夫 TEL 03-6240-1206
 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期第3四半期の連結業績（2024年9月1日～2025年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期第3四半期	4,030	△18.7	665	△31.1	687	△27.8	532	△23.8
2024年8月期第3四半期	4,956	△8.0	966	107.0	952	104.1	697	78.8

(注) 包括利益 2025年8月期第3四半期 480百万円 (△35.3%) 2024年8月期第3四半期 743百万円 (100.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期第3四半期	24.64	-
2024年8月期第3四半期	32.39	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年8月期第3四半期	14,486	10,008	69.1
2024年8月期	15,436	9,684	62.7

(参考) 自己資本 2025年8月期第3四半期 10,008百万円 2024年8月期 9,684百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	-	0.00	-	10.00	10.00
2025年8月期	-	0.00	-		
2025年8月期（予想）				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年8月期の連結業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,294	△13.9	1,904	△21.8	1,896	△21.8	1,195	△28.7	55.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年8月期3Q	22,052,426株	2024年8月期	22,052,426株
② 期末自己株式数	2025年8月期3Q	426,820株	2024年8月期	496,648株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年8月期3Q	21,595,406株	2024年8月期3Q	21,543,434株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(重要な後発事象)	8
3. 補足情報	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、緩やかに回復しているものの、米国の通商政策や物価上昇、中国経済や中東情勢など、先行き不透明な状況は継続しています。

当社が主な対象とする米国の太陽電池関連市場におきましては、各自治体の後押し等により、太陽光パネルの設置は堅調に推移しています。また、日本の太陽電池市場においても、次世代太陽電池であるペロブスカイト型太陽電池について企業によるより明確な量産に向けた計画の発表や、日本政府や自治体からも開発・生産・設置に対する支援が表明され、大規模な補助金の投入が決定するなど、動きが活発化しています。また、国内外で使用済み太陽光パネルに対応する取り組みが進んでいます。国内では地球温暖化対策計画において太陽光パネルの義務的リサイクル制度の活用を検討する旨が明記されるなど、具体性が増しています。海外では、環境意識の高い欧州やオーストラリアを中心にリサイクルに対する意識が高まっています。リサイクル装置の導入などに対する補助金の交付など行政からの支援も行われており、国内外でリサイクル事業へ参入を検討する企業が増えています。

これらの事業環境の中、太陽電池製造装置に関しては米国の太陽電池メーカーである主要顧客に対して、R&Dセンター向けのペロブスカイト開発装置や追加装置、改造案件を中心に売り上げました。また、既存顧客である国内太陽電池メーカー複数社に対して、ペロブスカイト用開発装置や結晶シリコン系太陽電池用の新規装置も売り上げました。太陽電池業界向け以外のFA装置に関しては、電子部品業界の国内主要顧客向けの案件や自動車部品業界の日系企業米国法人向けの案件を中心に売上を計上しました。太陽光パネルリサイクル装置については、国内企業向けにフレーム・J-Box分離装置を2台、ガラス分離装置を1台、海外企業向けにフレーム・J-Box分離装置を2台、ガラス分離装置を1台売り上げました。部品販売は米国主要顧客の在庫状況の関係で想定よりは減少したものの、堅調に推移しました。また、環境関連サービスでは太陽光発電所の検査サービスや植物工場ビジネスを中心に売り上げました。

以上のことから、当第3四半期連結累計期間の売上高は一部改造案件が期ずれ、部品の売上が予定を下回ったものの、国内既存顧客向けの新規装置の販売や米国主要顧客向けの案件における追加作業の発生、改造案件の前倒し、太陽光発電所検査サービスの上振れなどにより4,030百万円（前年同期比925百万円の減収）と予定よりやや増収となりました。利益面においては、売上高は想定を上回ったものの、比較的高利益率である部品等の割合が想定よりも少なかったことにより売上総利益率が低下したため、営業利益665百万円（前年同期比300百万円の減益）、経常利益687百万円（前年同期比264百万円の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は532百万円（前年同期比165百万円の減益）と予定を下回る結果となりました。

なお、装置関連事業と環境関連事業は、2024年9月1日付の組織変更により装置関連事業に統合したため、第1四半期連結会計期間より装置関連事業の単一セグメントとしております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は11,133百万円となり、前連結会計年度末に比べ825百万円の減少となりました。これは主として、現金及び預金の増加1,548百万円、流動資産のその他の増加259百万円があった一方で、受取手形、売掛金及び契約資産の減少2,344百万円、仕掛品の減少278百万円があったことによるものであります。固定資産は3,353百万円となり、前連結会計年度末に比べ123百万円の減少となりました。これは主として、有形固定資産のその他の増加25百万円、投資その他の資産のその他の増加22百万円があった一方で、建物及び構築物の減少119百万円、無形固定資産のその他の減少17百万円、繰延税金資産の減少31百万円があったことによるものであります。

この結果、総資産は、14,486百万円となり、前連結会計年度末に比べ949百万円の減少となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は4,383百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,287百万円の減少となりました。これは主として、前受金の増加1,464百万円があった一方で、買掛金の減少149百万円、電子記録債務の減少1,900百万円、未払法人税等の減少666百万円があったことによるものであります。固定負債は94百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円の増加となりました。これは主として、退職給付に係る負債の増加14百万円があったことによるものであります。

この結果、負債合計は、4,477百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,273百万円の減少となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は10,008百万円となり、前連結会計年度末に比べ324百万円の増加となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益532百万円の計上があった一方で、剰余金の配当215百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年8月期（2024年9月1日～2025年8月31日）の通期業績予想につきましては、2025年4月10日に公表しております「通期業績予想の修正に関するお知らせ」の内容と同一です。なお、第4四半期会計期間には米国主要顧客の新工場向け大型案件の売上計上を当初の計画通り予定しています。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,237,825	6,786,731
受取手形、売掛金及び契約資産	2,787,929	443,395
電子記録債権	5,325	6,616
仕掛品	3,759,722	3,481,558
原材料及び貯蔵品	17,050	4,652
その他	150,776	410,105
流動資産合計	11,958,629	11,133,060
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,872,687	3,862,497
減価償却累計額	△2,358,456	△2,468,095
減損損失累計額	△41,215	△41,215
建物及び構築物 (純額)	1,473,015	1,353,186
機械及び装置	253,042	185,622
減価償却累計額	△145,110	△146,503
減損損失累計額	△69,799	△5,101
機械及び装置 (純額)	38,132	34,017
土地	1,548,050	1,548,050
その他	404,249	460,492
減価償却累計額	△250,585	△280,898
減損損失累計額	△53,768	△53,768
その他 (純額)	99,894	125,825
有形固定資産合計	3,159,092	3,061,079
無形固定資産		
その他	48,396	31,249
無形固定資産合計	48,396	31,249
投資その他の資産		
破産更生債権等	31	31
繰延税金資産	245,187	214,019
その他	24,708	47,390
貸倒引当金	△31	△31
投資その他の資産合計	269,895	261,409
固定資産合計	3,477,384	3,353,738
資産合計	15,436,013	14,486,798

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	245,412	95,601
電子記録債務	2,294,927	394,450
未払法人税等	672,784	6,383
前受金	1,976,987	3,441,531
賞与引当金	151,823	154,876
製品保証引当金	39,567	30,150
受注損失引当金	1,847	—
その他	287,310	260,425
流動負債合計	5,670,661	4,383,419
固定負債		
退職給付に係る負債	80,277	94,466
その他	555	90
固定負債合計	80,832	94,557
負債合計	5,751,493	4,477,977
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,812,461	2,812,461
資本剰余金	2,738,335	2,754,504
利益剰余金	4,286,752	4,603,220
自己株式	△306,177	△263,151
株主資本合計	9,531,371	9,907,035
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	153,148	101,785
その他の包括利益累計額合計	153,148	101,785
純資産合計	9,684,520	10,008,821
負債純資産合計	15,436,013	14,486,798

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)
売上高	4,956,227	4,030,735
売上原価	3,190,770	2,511,950
売上総利益	1,765,456	1,518,785
販売費及び一般管理費	798,945	852,865
営業利益	966,511	665,919
営業外収益		
受取利息	95	4,876
為替差益	—	12,869
補助金収入	900	1,499
還付加算金	230	30
スクラップ売却益	400	4,670
雇用調整助成金	216	348
その他	589	768
営業外収益合計	2,431	25,062
営業外費用		
支払手数料	2,303	2,336
為替差損	14,392	—
固定資産除却損	136	1,451
その他	—	11
営業外費用合計	16,832	3,799
経常利益	952,110	687,182
税金等調整前四半期純利益	952,110	687,182
法人税、住民税及び事業税	269,067	124,288
法人税等調整額	△14,745	30,866
法人税等合計	254,322	155,155
四半期純利益	697,788	532,026
親会社株主に帰属する四半期純利益	697,788	532,026

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)
四半期純利益	697,788	532,026
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	45,672	△51,362
その他の包括利益合計	45,672	△51,362
四半期包括利益	743,461	480,663
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	743,461	480,663
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	装置関連事業	環境関連事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
日本	293,779	238,680	532,460	—	532,460
アメリカ	3,702,720	423	3,703,144	—	3,703,144
マレーシア	174,043	—	174,043	—	174,043
ベトナム	114,943	—	114,943	—	114,943
インド	429,907	—	429,907	—	429,907
その他	1,728	—	1,728	—	1,728
顧客との契約から生じる収益	4,717,122	239,104	4,956,227	—	4,956,227
外部顧客への売上高	4,717,122	239,104	4,956,227	—	4,956,227
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,717,122	239,104	4,956,227	—	4,956,227
セグメント利益又は損失(△)	1,494,745	△4,857	1,489,888	△523,376	966,511

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)

当社グループは、装置関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

1. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、装置関連事業と環境関連事業は、2024年9月1日付の組織変更により装置関連事業に統合したため、装置関連事業の単一セグメントとしております。

なお、当該変更に伴う前第3四半期連結累計期間について、変更後の区分方法により作成した報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報は、変更前の装置関連事業及び環境関連事業の売上高及びセグメント利益又は損失の合計金額が、変更後の装置関連事業の売上高及びセグメント利益又は損失に該当いたします。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	161,025千円	168,773千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当社グループは、装置関連事業の単一セグメントであり、当第3四半期連結累計期間の生産実績は次のとおりです。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日) (千円)	前年同期比 (%)
装置関連事業	3,598,074	46.6

(注) 金額は販売価格によっております。

(2) 受注状況

当社グループは、装置関連事業の単一セグメントであり、当第3四半期連結累計期間の受注状況は次のとおりです。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
装置関連事業	6,245,395	76.9	10,293,877	76.6

(3) 販売実績

当社グループは、装置関連事業の単一セグメントであり、当第3四半期連結累計期間の販売実績は次のとおりです。

製品カテゴリの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日) (千円)	前年同期比 (%)
太陽電池製造装置	2,226,215	—
FA装置	718,997	—
太陽光パネル解体装置	217,283	—
部品	749,207	—
環境関連サービス	119,032	—
合計	4,030,735	81.3

(注) 2025年8月期から新たに製品カテゴリを区分しており、必要な財務情報を遡って作成することが実務上困難であるため、前年同期比は合計のみを記載しております。

装置関連事業と環境関連事業は、2024年9月1日付の組織変更により環境関連事業を装置関連事業に統合したため、第1四半期連結会計期間より装置関連事業の単一セグメントとしております。

なお、前年同期比は前第3四半期連結累計期間のセグメント合計との比較としております。